

JIS

クラフト紙袋－用語及び種類

JIS Z 0102 : 2004

(JKPSA/JSA)

(2008 確認)

平成 16 年 2 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 物流技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	高橋輝男	早稲田大学
(委員)	秋山芳夫	社団法人日本産業機械工業会
	岩橋俊彦	社団法人日本産業車両協会
	稲束原樹	社団法人日本ロジスティックシステム協会
	井上彰一郎	国土交通省
	佐々木春夫	社団法人日本包装技術協会
	鷹背豊二	社団法人全日本トラック協会
	筒井善次	株式会社日通総合研究所
	永井元	株式会社商船三井
	西重樹	日本貨物鉄道株式会社
	西本徳生	厚生労働省
	福本博二	社団法人日本パレット協会
	村木裕世	社団法人日本航空宇宙工業会
	山下廣行	国土交通省

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 39.7.1 改正：平成 16.2.20

官 報 公 示：平成 16.2.20

原 案 作 成 者：全国クラフト紙袋工業組合

(〒104-8139 東京都中央区銀座3丁目9-11 紙パルプ会館 TEL 03-3248-4854)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂4丁目1-24 TEL 03-5770-1573)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：物流技術専門委員会 (委員長 高橋 輝男)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 標準課産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

JIS Z 0102 : 2004

クラフト紙袋—用語及び種類

訂 正 票

位 置	誤	正
索引 (五十音順)	外側スリーブバルブ 4.4.2.3 external sleebe valve 4.4.3.4 external sleebe valve	外側スリーブバルブ 4.4.2.3 external sleeve valve 4.4.3.4 external sleeve valve

訂正票とは、規格本体以外（解説ほか）に対する正誤を表します。

平成 17 年 9 月 1 日作成

白 紙

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、全国クラフト紙袋工業組合(JKPSA)／財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS Z 0102:1996** は改正され、この規格に置き換えられる。

今回の改正は、日本工業規格を国際規格に整合させるため、**ISO 6590-1:1983, Packaging—Sacks—Vocabulary and types—Part 1: Paper sacks** を基礎として用いた。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

JIS Z 0102 には、次に示す附属書がある。

附属書（参考）**JIS** と対応する国際規格との対比表

目 次

	ページ
序文	1
1. 適用範囲	1
2. 一般	1
3. 袋の種類及び記号	2
3.1 ひだなし袋	3
3.2 ひだ付き袋	3
3.3 ミシン縫い袋	3
3.4 のりばり袋	3
3.5 開口式袋	3
3.6 バルブ付き袋	5
4. 構造	7
4.1 主なミシン縫い形式	7
4.2 ミシン縫い封かん及び関係補助材料	8
4.3 のりばり封かん及び関係補助材料	9
4.4 バルブ形式	10
4.5 その他の構造	11
5. 材料	11
5.1 袋用紙	11
5.2 袋用紙の種類	12
5.3 袋用紙の色合い	12
5.4 湿潤強力紙	12
5.5 他のフレキシブル材料	12
5.6 加工材料	12
5.7 附属材料	12
6. 袋の各部分の位置	13
7. こん(梱)包	13
7.1 個こん包	13
7.2 パレットこん包	13
7.3 こん包の方法及び構成	13
7.4 こん包材料	14
附属書(参考) JIS と対応する国際規格との対比表	18
解 説	20
索 引	22

クラフト紙袋—用語及び種類

Kraft paper sacks—Vocabulary and types

序文 この規格は、1983年に第1版として発行された ISO 6590-1, Packaging—Sacks—Vocabulary and types—Part 1: Paper sacks を翻訳し、編集上及び／又は技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、7. (こん包) は対応国際規格にない事項で、日本工業規格として追加している、また、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、原国際規格を変更して作成している事項である。追加及び変更の一覧表をその説明を付けて、**附属書 (参考)** に示す。

1. 適用範囲 この規格は、クラフト紙袋の製造において一般的に使用している用語、種類及びこん (梱包) 用語について規定する。

なお、この規格は、クラフト紙を用いて製造した1層及び多層の紙袋について規定したもので、小売業のための紙袋は含まない。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、ISO/IEC Guide 21 に基づき、IDT (一致している)、MOD (修正している)、NEQ (同等でない) とする。

ISO 6590-1:1983, Packaging—Sacks—Vocabulary and types—Part 1: Paper sacks (MOD)

2. 一般 紙袋及びその製造に関する用語の定義は、次による。

なお、参考として対応英語を用語の次に括弧を付けて示す。

- a) **紙袋** (paper sack) 少なくとも一端部を封かんした1層以上の平らなチューブ状の紙の層からなり、充てん及び流通段階で要求される性能を付与するために他のフレキシブル材料を組み合わせることができる紙袋 (以下、袋という)。
- b) **層** (ply) 袋の壁を形成する紙及び他のフレキシブル材料、並びにそれらを複合した材料からなるシート。
- c) **ひだ** (gusset) チューブ又は袋の縦の端に挿入された折り目。
- d) **チューブ** (tube) 指定された長さにカットした平らな1層以上の筒。
- 1) **フラットチューブ** (flat tube) 挿入折り線のない単に平らな筒。
備考 ひだなしチューブともいう。
- 2) **ガゼット付きチューブ** (gusseted tube) 縦の端に挿入された折り線部分をもつ筒。
備考 ひだ付きチューブともいう。
- 3) **フラッシュカットチューブ** (flush cut tube) フラット又はガゼット付きで、指定された長さにそろえてカットした筒 [図 1 a) 参照]。
- 4) **ステップエンドチューブ** (stepped end tube) フラット又はガゼット付きで、指定された長さに階